

# 加賀市都市計画マスタープラン【概要版】

## 1 都市の将来像

ひと・もの・地域をつなぎ  
安心 便利に 新たな価値を創出し続けるまち

本市が有する、古くより培ってきた歴史・文化や豊かな自然環境、温泉などの資源を活用し、来街者や移住者を増やしていくことで、本市の発展を進めていきます。また、加賀温泉駅前を本市の活力の中心と位置付けるとともに、総合計画の将来都市構造にある7つの地域拠点（大聖寺・山代・片山津・動橋・作見・橋立・山中）それぞれの特色を活かしつつ、特に作見地域のうち加賀温泉駅の周辺を本市の活力の中心として、積極的なまちづくりを進めていくと同時に、将来にわたっても便利で快適な生活が送れるよう、新しい技術を積極的にまちづくりに取り入れていきます。

## 2 まちづくりの基本方針

### 共通方針：「未来型の都市基盤・生活様式の創出」

～新技術の積極的な導入による、便利で効率的な生活の質の向上～

都市の利便性と魅力向上のために、まちづくりのあらゆる分野に対して近年急速に進歩しているデジタル技術を横断的に取り入れることで、「未来型」の便利で快適な都市を形成し、市民生活の質の向上を図り、定住人口や交流人口の増加を目指します。

### 基本方針1：「集約・コンパクト化」

～まちなかの充実による、都市の機能が集約されたまちづくり～

7つの地域拠点（大聖寺、山代、片山津、動橋、作見、橋立、山中で形成されている市街地）の質的な充実を進めるほか、地域拠点への生活利便施設の緩やかな誘導により、歩いて暮らせる、便利で都市の機能が集約されたコンパクトなまちの形成を進めます。

### 基本方針2：「連携・ネットワーク化」

～ひと・ものの相互連携や、道路網・公共交通網の形成・充実～

7つの地域拠点を互いにつなぐ道路網や公共交通の充実により、それぞれの地域拠点において暮らしの利便性向上を図るとともに、観光資源や生活に必要な施設の相互連携を図ります。

また、北陸新幹線加賀温泉駅の開業は、本市にとっても都市再生のチャンスであり、新幹線駅を拠点とし、市内のネットワークを充実させることにより、新幹線開業効果を市内外に発現します。

### 基本方針3：「都市基盤・施設の有効活用」

～快適で安全な暮らしを支え、住みたくなる都市基盤・施設の確保・活用～

住民が快適で安全な生活を送るために欠かせない、道路・公園・上下水道などの都市基盤や、学校・病院・福祉施設などの施設の中には、老朽化が進み、近年中に更新時期を迎えるものも多く、今後は適正管理が重要になってきます。そのため、「加賀市公共施設マネジメント基本方針」を踏まえ、都市基盤の長寿命化に加え、施設の適正配置、機能の転換・複合化を図っていきます。

合わせて、官民が連携して既存の公共施設の有効活用を積極的に行い、住みたくなる、住んで良かったと実感してもらえる都市づくりを進めます。

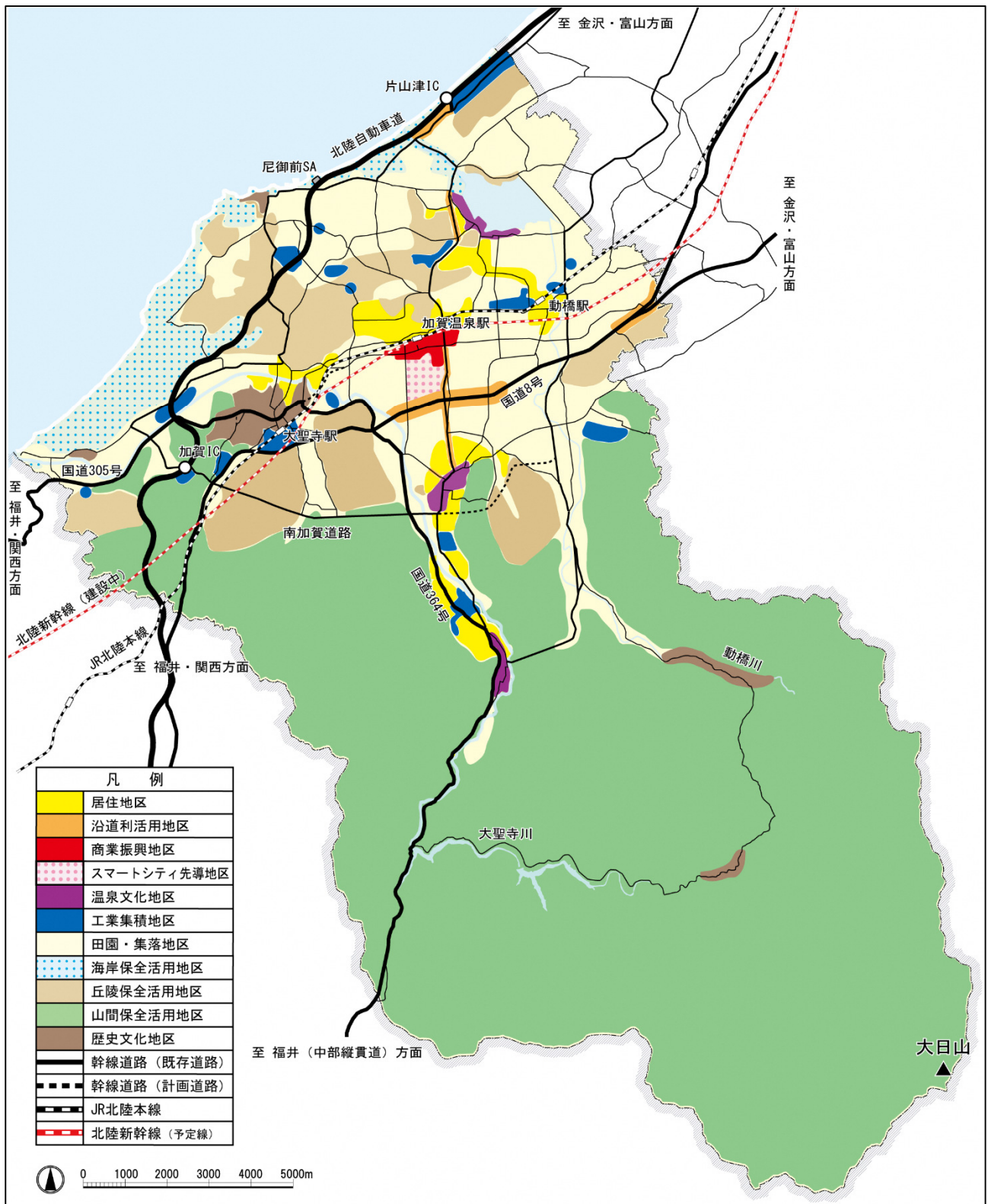
### 基本方針4：「地域の魅力・活力の創出」

～地域活性化の原動力となる、自然・文化・産業の発展と人材の確保～

活力ある地域づくりのためには、本市が有する自然環境や文化、温泉をはじめとした魅力的な観光資源などの地域資源のさらなる発展と、農林水産業や工業の振興、そして居住者や来訪者の増加、次代を担う人材の確保を図っていくことが不可欠です。特に、北陸新幹線加賀温泉駅の開業効果を最大限に発揮するために、これらの「地域活性化の原動力」とも言える「自然」「文化」「産業」「人材」をこれからも確保・創出し、かつ磨き上げ、成長を促すことで、本市の持続的・継続的な発展を図ります。

### 3 土地利用の方針

自然環境の保全や産業の振興及び良好な市街地を形成するため、現況の土地利用や将来都市構造を踏まえ、11種類の土地利用区分を設定します。



## 4 都市基盤施設などの方針

### 市街地整備の方針

市街地（地域拠点や郊外集落、工業地など）は、居住や生活の中心であるとともに、商業や工業等の様々な産業活動の中心となります。そのため、これらの市街地における都市機能の充実とともに、定住人口の確保、IoTやAIなどの先端技術の導入によるスマートシティの実現を目指し、地域住民や産業にとって賑わいにあふれる、便利で効率的な市街地の形成を図ります。

### 道路の整備方針

将来都市構造における広域交流軸や広域連携軸を都市の骨格とし、構成する既存道路の拡幅や未整備道路の早期整備を進めます。

市内の各拠点間を連絡する道路については、市民のスムーズな市内移動のためのネットワークとして、既存道路の維持管理の充実を図ります。

生活に密着した道路のうち、小中学校等の通学路に指定されている道路や、まちなかなどで歩行者や自転車が多く通行する道路については、沿道状況に応じて、歩行者、自転車それぞれの安全で快適な通行空間を確保します。

### 公共交通の整備方針

北陸新幹線加賀温泉駅の開業に向け、新幹線駅周辺の都市機能の充実を図るとともに、賑わい創出に向けた開発を検討し、並行在来線は、第3セクター等の運行により、通勤・通学をはじめとした日常生活の移動目的に対応する地域公共交通として、維持・充実を事業者に働きかけるとともに、連携を強化して利便性の向上に努めます。

### 公園・緑地の整備方針

すべての市民が身近に利用でき、災害時にも対応した安全で人にやさしい、ユニバーサルデザインに配慮した公園整備を行います。

市民ニーズに対応した公園や広場の改修をするほか、老朽化した施設や設備の改修を行い、適正な維持管理を進めます。

### 供給処理施設の整備方針

安全で快適な生活環境を確保するとともに、生活環境を改善するため、下水道や上水道の供給処理施設を整備し、施設の耐震対策と老朽化する施設の長寿命化を考慮した計画的な整備を進めます。

### 環境保全・形成の方針

将来都市構造の環境軸の方針に沿って、本市の骨格を成す地域の豊かな自然を守り、活かし、育て増やすことにより、自然再生や生物多様性の保全、地球温暖化防止など様々な環境対策に取り組みます。

### 景観保全・形成の方針

景観保全においては、本市が有している貴重な自然や歴史・文化などを伝える景観を後世へと残すために、これらの景観を構成する要素の保全に取り組みます。

景観形成においては、美しい景観を有する地域として、また、加賀市らしい景観を作り上げていくために、景観の阻害要因の規制や排除と新たな景観の創出を、面的・線的な視点から進めます。

### 防災・防犯の方針

「加賀市地域防災計画」に基づき、土砂災害や津波、雪崩、浸水などの危険性がない箇所に、市民が安全かつ迅速に避難できるよう、各種災害に対する施設整備及び防災知識の普及並びに防災訓練などを推進します。

## 5 地域別の方針



地域別構想の地域区分は、市街地の分布状況や地域の特性などを踏まえ、次の7地域とします。

### 大聖寺地域

城下町の歴史と文化が薫る、住みよい賑わいのあるコンパクトなまち

#### 主要施策

- 加賀海岸自然休養林の保全
- 歴史的景観の保全・活用
- 錦城山公園の保全・整備
- 歴史的風致の保全・整備
- 市街地中心部の魅力向上と利便施設の誘導
- 大聖寺川周辺の整備
- 一般国道8号の4車線化
- 大聖寺道路の早期完成

### 山代地域

温泉と歴史文化資産を活かした、趣のあるコンパクトなまち

#### 主要施策

- 一般国道8号（加茂町～松山町区間）の4車線化
- 沿道利活用施設の立地誘導
- 未来型エリアの創出
- （都）山代栗津線の整備促進
- 温泉通りの整備
- 滞在型温泉郷の形成
- 自然環境・景観の保全・活用
- 南加賀道路の整備促進

### 片山津地域

温泉と柴山湯と歴史文化資産の恵みを活かしたコンパクトなまち

#### 主要施策

- 工業地への工場誘致
- 実盛塚などの歴史文化資産の活用
- 柴山湯の環境保全と白山眺望点の保全
- 柴山湯の浸水対策と水辺空間の創出
- 温泉街の活性化
- （都）合河片山津線の整備促進
- 片山津海岸の保全

### 動橋地域

産業と文化資産や動橋川の自然を活かしたコンパクトなまち

#### 主要施策

- 動橋川の治水対策と親水空間の創出
- 美しいまちなみの形成
- 動橋駅の利便性向上
- 身近な商店街としての機能充実
- まちなかへの居住誘導
- 沿道利活用施設の立地誘導
- 古墳群や民俗文化の保全と有効利用

### 作見地域

新しい価値を創造する、人が集い行き交う加賀温泉郷の玄関口

#### 主要施策

- 北陸新幹線加賀温泉駅の整備促進と駅前広場の機能拡充や南北連絡性の向上
- 駅につながる幹線道路の改良
- 加賀温泉郷の玄関口にふさわしい施設の立地促進
- 沿道サービス施設の立地誘導
- 加賀市中央公園の多様なニーズに対応した施設の充実
- 鉄道アンダーパスの冠水対策
- 新たな都市機能の創出
- 市街地形成促進に向けた都市基盤整備

### 橋立地域

北前船の里の歴史と豊かな自然を活かしたまち

#### 主要施策

- 北前船の里の歴史的まちなみの保全
- 海産物との連携による観光振興
- 加賀海岸自然休養林の機能保全・整備
- 片野鴨池の自然環境の保全
- 海岸環境の保全
- 橋立自然公園の利活用
- 居住環境の保全

### 山中地域

温泉や伝統産業を活かし豊かな自然と共存する、情緒あるコンパクトなまち

#### 主要施策

- （都）温泉中央南線の整備促進
- 菊の湯を中心とした地区の施設整備及び景観形成
- 鶴仙溪などの風致の維持・向上
- 山中漆器産業の活性化
- まちなかへの居住誘導
- 東谷地区の山村景観の保全
- 九谷磁器窯跡を活かした景観整備
- 集落の活性化とコミュニティの維持